

上海からグローバル展開！中国で研修を受ける日本人幹部候補！ (森松工業 株式会社)

会社概要(平成23年12月現在)

- 所在地: 岐阜県本巣市見延1430-8
- 代表者: 代表取締役 松久 信夫
- 資本金: 2億8,000万円 (グループ総資本金123億6,000万円)
- 売上高: 120億円
- 従業員数: 550名(グループ3,650名)
- URL: <http://www.morimatsu.jp/>

①事業概要

<ステンレスタンクの製造・販売>

建築設備製品(ステンレス製パネル水槽、同蓄熱槽、ステンレス製貯湯槽、熱交換器(多管式、プレート式)、その他圧力容器、貯油槽等製缶類)、上水道製品(ステンレス製配水池)及びプラント設備製品(プラント用各種槽類)の製造・販売を行っている。

②海外展開概要

<中国における自動車工場用リール製造・販売>

昭和60年代～平成初頭の第一次対中投資ブームの頃、輸出したタンクの検査で不利益な取り扱いを受けたことから平成3年に中国へ進出した。

その時から社長は30年後には海外事業は中国が主流になると予感していたが、予想以上に早く経済成長した。当時は合併での進出しか認められなかったため、日本7:中国3の出資で合併企業でスタートした。その後、経営方針について合併相手と重大な齟齬が生じ4%を残して日本森松が単独経営の状態となった。

上海森松では、平成5年から単年黒字化を実現し、平成12年以降から業績が大きく拡大した。

上海森松では日系・多国籍企業および中国政府系企業への販売と、多国籍企業への輸出を行っている。上海では日本で取り組んでいない独自開発により、海上油田プラットフォーム、太陽光発電、医薬品、化学品関係など幅広い分野を手掛ける。当初から、現地化を進め、日常の運営、新規案件対応を含め経営全般を現地経営陣に任せている。

現地技術のレベルも上がり、日本から上海へ技術者を派遣して研修を受けさせている。また日本人幹部候補も上海へ派遣してグローバルなビジネスを研修させている。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

中国での成長期には、現地化させ、現地のアグレッシブな感覚で仕事をさせる方が良い。海外進出では、日本の事業を平行移動するだけなら、進出する意味はない。

自社ブランドを構築し、世界企業との直接取引を目指して、新規事業にチャレンジする。今までの販売チャンネルを革新する勇気と方向性も必要である。

④今後の事業展開について

今後の展開としてBRICSを検討したが、圧倒的に中国のポテンシャルが高く、今後も中国を軸足に全世界へ輸出していく方針。



▲ステンレスパネルタンク



▲モジュール製品



▲三次元R加工(航空・宇宙関連)



▲森松(江蘇)重工有限公司

(平成23年12月現在)

データ出所: 中部経済産業局